

まつかぜ設置の主旨

現在、要介護老人対策は長寿社会に向けての緊急の課題になっております。柳井市におきましても寝たきり老人は年々増加しているのが現状です。家庭の諸事情により社会的入院をされている方、認知症で家族介護が困難な方も急速に増えてきています。

これらの問題に対して、老人病院、特別養護老人ホームの運営の経験を生かし、看護・介護、お年寄りの自立支援および家庭復帰を目指す「介護老人保健施設まつかぜ」を開設しました。

施設の概要

- ◆ 施設及び経営主体 医療法人 松栄会（理事長 坂本達哉）
- ◆ 施設の規模
 - 敷地面積 約 10,000平方メートル
 - 建築面積 約 5,300平方メートル
 - 構造 鉄筋コンクリート 4階建て
- ◆ 定員
 - 入所 100人（内 認知症専門棟 40人）
 - デイケア 1日 40人
- ◆ 職員
 - 施設長、医師、介護支援専門員、介護支援相談員、事務員、理学療法士
看護師、介護員、栄養士、調理員等
- ◆ 開設日 平成8年 4月
- ◆ 併設病院 坂本病院
- ◆ 施設の特徴
 - (1) 重度の認知症を積極的に受け入れるため、認知症専門棟を設置しています。認知症老人の徘徊、不穏行動に配慮した開放型の病棟です。
 - (2) リハビリテーションでは日常生活活動（離床、更衣、移動、食事、排泄）の向上を目標としたプログラムを実施します。
また、当地は自然環境の良好な場所であり遊歩道、花壇、植樹など環境整備により室外でのレクリエーションを行います。